

子どもの豊かな感性・思いやり・協調性を育む 自然とのふれあいを大切にする



日程と主な滞在都市

日程概略

日次	月日曜	発着・滞在地	時刻	交通機関	摘要	食事
1	8/18 (日)	東京(成田) ヘルシンキ ハンブルク	午後 夕刻 夕刻	航空機 航空機 専用車	空路、ヘルシンキ乗継、ハンブルクへ 着後、ホテルへ 【ハンブルク泊】	朝× 昼機 夕機
2	8/19 (月)	ハンブルク	午前 午後 午後	専用車 徒歩	■ホーエンブーヘン保育所・幼稚園の園庭ピオトープを見学 ■ハンブルク大学教育学部にて座学 ハンブルク市内を見学 【ハンブルク泊】	朝○ 昼○ 夕×
3	8/20 (火)	ハンブルク リュネブルガーハイデ シュネヴェルディングン	午前 午前 午後 午後 午後 午後	専用車 馬車 専用車	■ゾーネンヒューゲル保育所・幼稚園の園庭ピオトープを見学 ■ハーブルク森の保育所・幼稚園を見学 陸路、リュネブルガーハイデへ(約40km) リュネブルガーハイデ自然保護区を見学 陸路、シュネヴェルディングンへ(約20km) 【シュネヴェルディングン泊】	朝○ 昼○ 夕×
4	8/21 (水)	シュネヴェルディングン ブレーメン	午前 午後 午後 午後	専用車 徒歩	■アム・ジョーダン幼稚園の園庭ピオトープを見学 陸路、ブレーメンへ(約60km) ■ヴァルトルフ幼稚園ブレーメン・ノルドのシュタイナー教育を見学 ブレーメン市内を自由見学 【ブレーメン泊】	朝○ 昼○ 夕×
5	8/22 (木)	ブレーメン ハンブルク	午前 午後 午後	専用車	陸路、ハンブルクへ(約100km) ■自然保育所・幼稚園ココペリの園庭ピオトープを見学 陸路、ハンブルク近郊へ ■カールスヘー工環境センターにて研修 【ハンブルク泊】	朝○ 昼○ 夕×
6	8/23 (金)	ハンブルク発 ヘルシンキ発	午前 午後 夕刻	専用車 航空機 航空機	陸路、ハンブルク国際空港へ(約10km) 空路、ヘルシンキ乗継、帰国の途へ 【機内泊】	朝○ 昼機 夕機
7	8/24 (土)	東京(成田)着	午前		着後、解散	

時間帯目安: 午前 08:00-12:00 午後 12:00-17:00 夕刻 17:00-19:00 食事略号: 朝:朝食、昼:昼食、夕:夕食、機:機内食

主な訪問都市

ツアーでは、夏のさわやかな北ドイツを巡り、持続可能な社会のための人づくりとしてドイツが力を入れている、乳幼児期からの自然とのふれあいの取り組みをご紹介します。視察の合間には、魅力的な歴史と文化に彩られた世界遺産都市『ハンブルク』と『ブレーメン』などの都市を巡るほか、ツアーのこの時期がエリカの見頃の『リュネブルガーハイデ自然保護区』を訪れ、美しい赤紫のエリカの花が一面に咲くヒースの景色を馬車で楽しむ予定です。



正式名称、**自由ハンザ都市ハンブルク**は、ドイツの北西部に位置する人口約 180 万人の都市で、ドイツ北部の経済の中心地です。ベルリン特別市と同様、一市単独で連邦州を構成する特別市で、ベルリン市に次ぐ国内第2の規模を誇ります。1200 年以上の古い歴史をもつこの港町は、中世から現代までの時代の流れと、自然と文化、そして最先端のトレンドが見事に調和した都市となっています。市内には、アルスター川をせき止めた内アルスター湖と外アルスター湖があり、その周囲には公園や緑地、レクリエーション・エリアが広がっています。その面積はまち全体の 15%程に及びます。

旧市街は昔から商業地域の中心で、数多くの運河が流れています。運河に面した倉庫街と商館街の景観は独特の魅力があり、2015 年にユネスコ世界遺産に登録されました。

また、ハンブルクの魅力は、自然豊かなまちづくりにもあります。ハンブルク政府は、緑地を増やし、中心市街地と郊外の自然を自転車道と遊歩道でつなげるグリーンネットワーク計画「グリューズネッツ(Gruenes Netz)」を進め、市民の自然とのふれあいの機会を増やし、車の利用を極力減らす取り組みを実行しています。こうしたことが認められ、2011 年 EU のヨーロッパ緑の首都 (Europe Green Capital) に選ばれました。

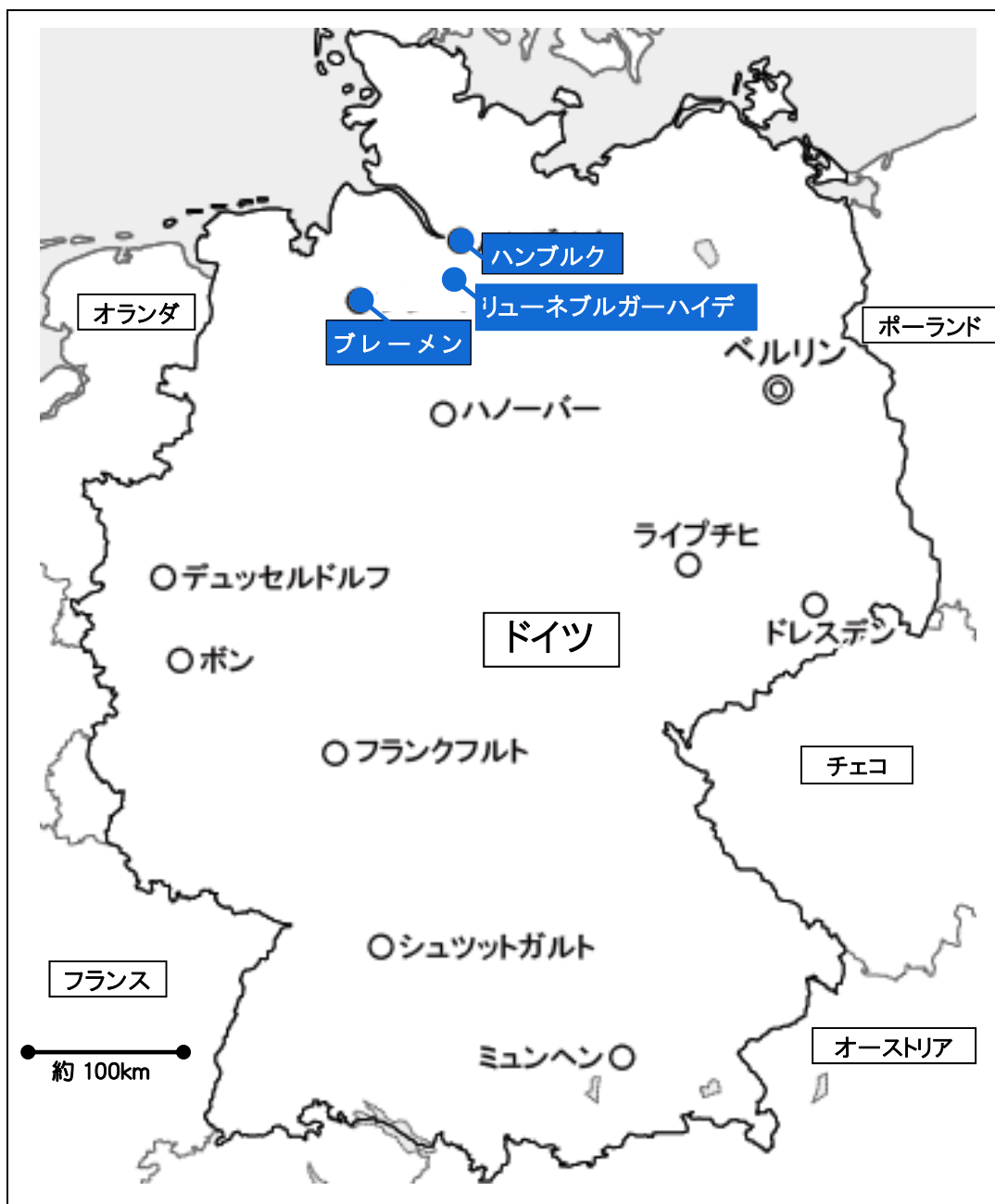
ブレーメンの音楽隊で有名なこのまちは、人口約 55 万人の中堅都市です。1260 年には都市ハンザが形成され、1358 年にハンザ同盟に加盟しました。第二次世界大戦では深刻な被害を受け、173 回に及ぶ空爆で市内の建造物の 62%が破壊されといわれています。それ以前の古い建物はマルクト広場周辺を中心に保存・再建されています。シュノーア地区では中世の古い街並みを体感することができます。また、市内には全部で 17 の自然保護地域があり、最大規模のものは 67 ヘクタールの面積をもっています。

市の中心のマルクト広場にあるブレーメン市庁舎と、中世文学『ローランの歌』に登場する英雄ローラントを象った巨大ローラント像は、その歴史と文化的価値が認められ 2004 年にユネスコ世界遺産に登録されました。



戦争などで幾度となく倒壊の危機に見舞われましたが、ブレーメンの自治都市としての尊厳を象徴するものとして、市民の手によって守られ続けてきました。第二次世界大戦時には、市民が力を合わせて像の周りに煉瓦製のシェルターを造り、そのなかに砂を入れて爆撃から守りました。また、市庁舎の地下には、1653 年建築のドイツ最古のワイン樽蔵を改造したレストラン「ブレーマー・ラーツケラー」があります。

滞在地の位置



視察企画・協力

公益財団法人
日本生態系協会

171-0021 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル
TEL 03-5951-0244 FAX 03-5951-2974 <http://www.ecosys.or.jp/>